

新時代

木更津市立木更津第一中学校校長だより 第35号 2023/07/18 文責 今井 克彦

激闘の支部総体野球部編

野球部は他3校との合同チームで大会に出場し、県大会出場がかかった決勝戦に臨みました。うちの3年生は3人、練習から元気に声を出す気のいいやつらです。それだけに、合同チームといえども顧問の思い入れは強く、最後の練習になるかもしれない金曜日は気合いが入り、練習後もグラウンド整備する3人の様子を、遠くから長い時間ボーッと見つめていました。このたそがれる感じ、私もよくわかります。

1人はチームのエースです。元気印でプレーにも喜怒哀楽が表れるストレートな子、1回戦から先発を任されて見事に投げぬきました。

もう一人は決して多くは語らずひょうひょうとしていますが、堅実な守備と意外性のあるバッティングでチームに貢献しました。

そしてもう一人はセンターを守っていますが、開始早々失点につながるエラーをしてしまいました。練習でも自らがそらしたボールを拾ってあげると、申し訳なさそうにお礼を言う律儀な子ですから、きっと責任を感じているだろうと心配していましたが、直後の打席でクリーンヒットを放ってすぐさま名誉挽回、本人にも笑顔が見られて安心しました。

ところが今度は、次の打席で1塁ベースにヘッドスライディングした際に指を負傷してしまいました。それもかなりの大けがで、すぐにでも病院で診てもらう必要があったのですが、本人は最後まで試合を見届けたいとそれをかたくなに拒みました。その気持ちは痛いほどわかりますが、きっと顧問としては複雑な気持ちだったと思います。

結局チームは最後までリードを保って見事に優勝、県大会出場を決めたのですが、彼はその後病院へ行き、やはり手術をするほどの大けがだとわかり、県大会への出場は難しくなってしまいました。あまりにも大きな代償となり、本人も悔しさをにじませていることと思いますが、とにかく今は治療に専念し、1日も早く回復することをただただ願うばかりです。